

# 長崎県公立高校入試徹底分析【国語】

## 【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	100点
問題構成	大問4題。文学的文章、古文、説明的文章、グラフや資料の読み取りの構成。 [一] は文学的文章34点。出典（『太陽と月』はらだみずき）。論述問題は2問、配点は11点。 [二] は古文18点。出典（『今昔物語集』）。論述問題は1問、配点は4点。 [三] は説明的文章34点。長い文章1と短い文章2。出典（1『知ってるつもり「問題発見力」を高める「知識システム」の作り方』西林克彦・2『学び続ける力』池上彰）。論述問題は1問、配点は5点。 [四] はグラフや資料の読み取り14点。話し合いの様子を読み取りながら、適切な資料の選択・解答が求められる。論述問題は2問、配点は10点。		

	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)	平成31年度(2019)
問題量（A4で）	8ページ分	8ページ分	8ページ分	8ページ分	8ページ分
小問数	31問	26問	25問	24問	23問
論述問題の数	6問	10問	8問	4問	6問
論述問題配点	30点	41点	35点	26点	30点

## 【出題の傾向と対策】

① [一]文学的文章で登場人物の考えを論述する。解答欄の前後の問題から記述の仕方を考える。

R5[一]

問四 ——線部③の「月人」の「涙」はどのような「涙」か。本文の語句を用いて、解答欄に合う形で六十字以内で書け。

最終選考合宿に参加したことで、[ ]ことから生まれた悲しさや悔しさ、うれしさを含んだ涙。

★空欄の前後に書かれている内容をヒントにして、記述を完成させる。ここでは「最終選考合宿」参加後、月人が感じた「悲しさや悔しさ」と「うれしさ」を探すこと。

② [二]現代語訳ができなければ、解けない問題多数。日頃から、内容の把握に努める習慣が必要。

R5[二]

問五 ——線部④とあるが、「主を知りて有る」とは鷹のどのような様子を指したものが、三十字以内で説明せよ。

★本文横に書かれた注釈の現代語訳を参考にして、字数に合わせてまとめる。

③ [三]説明的文章・文学的文章の問題中に毎年、知識事項・文法問題が出題されるので、対策が必要。

R5[三]

問五 ——線部④「いられる」の「られる」と同じ働きものを次から一つ選び、その記号を書け。

- ア 先生から声をかけられる。      イ 母のことが案じられる。  
 ウ これくらいなら覚えられる。      エ お客さまが来られる。

問六 ——線部⑤「手が打てない」の「手」と同じ意味のものを次から一つ選び、その記号を書け。

- ア 手のかかる子どもだ。      イ 彼は一番手だ。  
 ウ 彼の行く手をささぎる。      エ その手は食わない。

★教科書に出ているレベルの知識事項を確実に理解し、暗記しておくこと。

④[四]話し合いの文章と資料から必要な情報を取捨選択することが必要。

**資料3**

公立図書館を利用しにくい理由  
(回答：P市内の中学生)

理由	割合 (%)
学校や部活動で行く時間がない	45
図書館に行く他にやりたいことがある	39
読みたい本がない	28
図書館が近くにない	19
行きたいときに開いていない	7

家の近くに図書館を増やす……

開館時間を変更する……

中学生が読みたい本を置いてほしい

**問二** 資料3や【話し合い】をもとに、Ⅱに入る内容を二十文字以内で書け。

【話し合い】

A ウェブ会議に参加するのは初めてだから、参加者がどのようなことに注意しているか確認しておこう。

B 資料1と資料2を見ると、Ⅰ。

C さまざまな人が参加するから、そこには注意して会議に参加しよう。会議ではどんな意見を出そうか。

A 中学生代表として参加するからには、中学生が実際に足を運んで利用しやすい図書館になるように、図書館にしてほしいことを提案しよう。

A それはいいね。資料3は、P市内の中学生にとつたアンケートだけど、参考になりそうだよ。

B 資料3には五つのことが書いてあるけど、図書館を増やしたり、利用できる時間を変更したりしてもらうのは難しいよね。

C じゃあ、資料3をもとに図書館に要望することは、より多くの中学生が利用しやすくなるように、Ⅱということになるのかな。

A そうなれば、足を運ぶ人も増えるかもしれないね。会議ではその要望を伝えよう。

B 資料4を見ていたら、図書館に要望するだけでなく、利用者の立場から私たち中学生が協力できることもあると気づいたよ。

A それについては、校内放送でみんなに呼びかけることにしよう。

**資料4**

公立図書館の利用時に困っていること  
(回答：P市立図書館利用者) (自由記述から抜粋)

私語が多くて読書に集中できない	
館内の案内表示がわかりにくい	中学生にはどうしようもない
階段や段差が多くて歩きにくい	
乳幼児が過ごせるスペースがない	
荷物が座席に置かれていて座れない	私語は控えて、荷物は座席には置かないように

中学生の立場で考えて

**問三** 線部①とあるが、Aさんたちは、資料4をもとに【放送原稿】を作成した。資料4から中学生が協力できる項目をすべて選び、それらの内容をふまえてⅢにあてはまる形で二十五文字以内で書け。

【話し合い】

B 資料4を見ていたら、図書館に要望するだけでなく、利用者の立場から私たち中学生が協力できることもあると気づいたよ。

A それについては、校内放送でみんなに呼びかけることにしよう。

【放送原稿】

私たちは、P市役所主催の「利用しやすい公立図書館にするため」にできること」というテーマのウェブ会議に参加することになりました。会議に向けて準備する中で、私たち中学生の立場でもできることもあるということに気づきました。そこでみなさんに次のことを提案します。全ての人が利用しやすくなるように、公共の図書館ではⅢ

★【話し合い】の内容を把握し、資料に照らし合わせながら考える。限られた試験時間の中で、間違った情報を読み取らないようにする練習が必要。

**解答**

R5 [一] 問四 (例) すごいと思えるライバルたちと同じピッチに立ち、自分の実力が足りないという現実を思い知ると同時に、彼らに認められた

R5 [二] 問五 (例) 忠文の前では優れているが、親王の前ではだらしのない様子。

R5 [三] 問五 ウ

R5 [三] 問六 エ

R5 [四] 問二 (例) 中学生が読みたい本を置いてほしい

R5 [四] 問三 (例) 私語は控えて、荷物は座席には置かないように

※解答は県発表の標準解答に拠る